

D-15 テスト



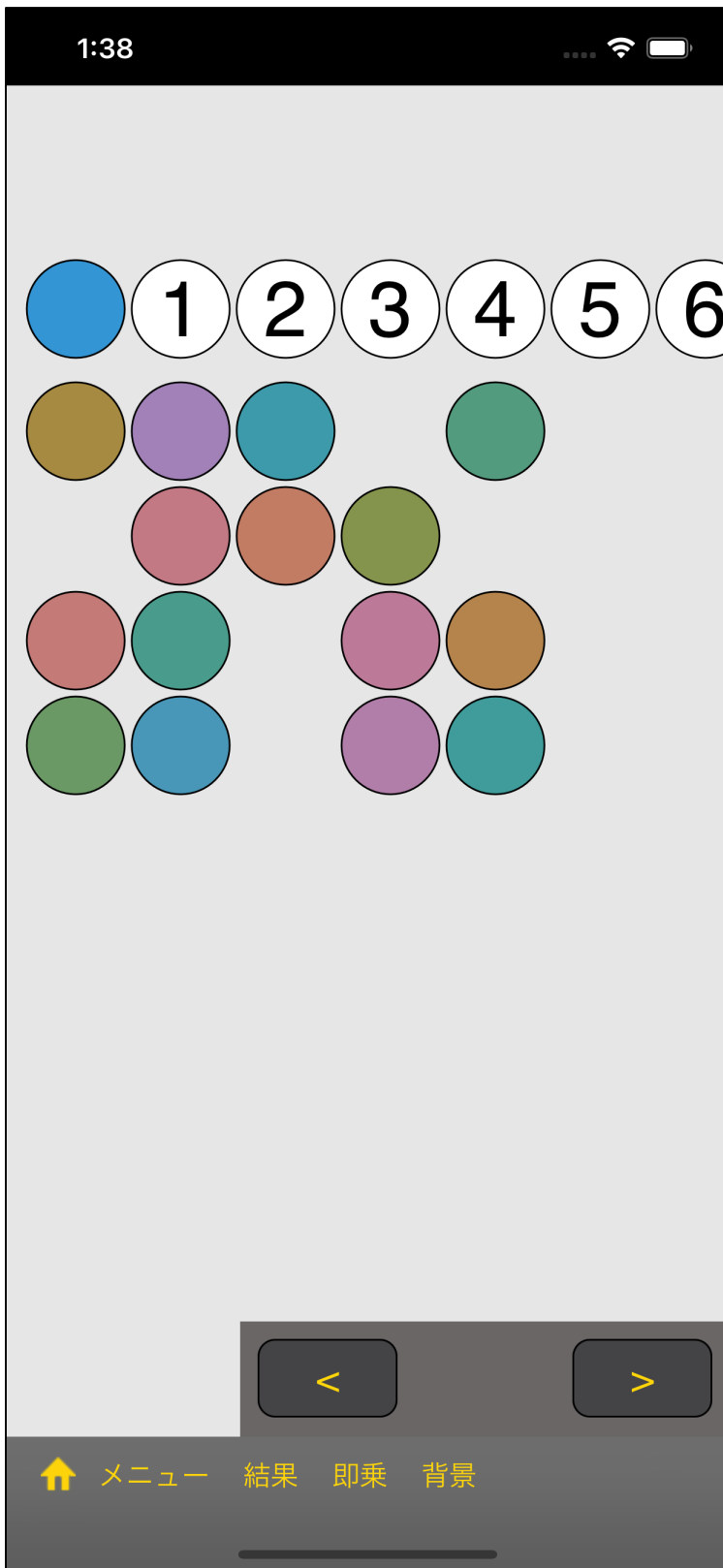
1枚目のタブは、こういうものになります。

明度は、7、6、5、4、3の5通りのものがあります。

標準、半分、1.5倍、2.0倍というのは、彩度です。

sRGB、Adobe(AdobeRGB)は、RGB変換方式です。

明度、彩度、RGB変換方式の違いにより、全部で、40通りのテストパターンがあります。



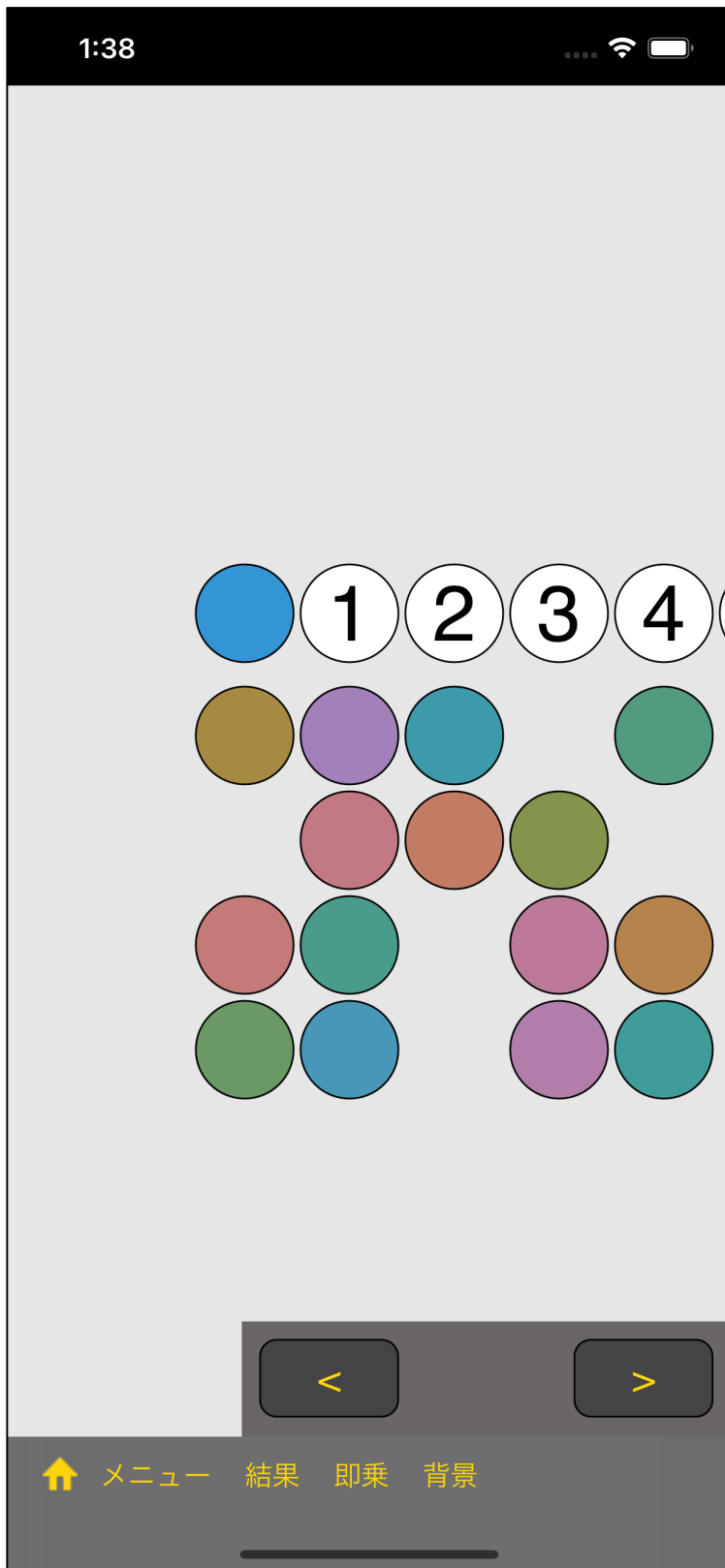
明度 6 (1段階上)

彩度 1.5倍

RGB変換方式 sRGB

のボタンを押すと、
こういうビューが現れます。

(背景色は、変えることができます。
この例は、階調 230 です。)

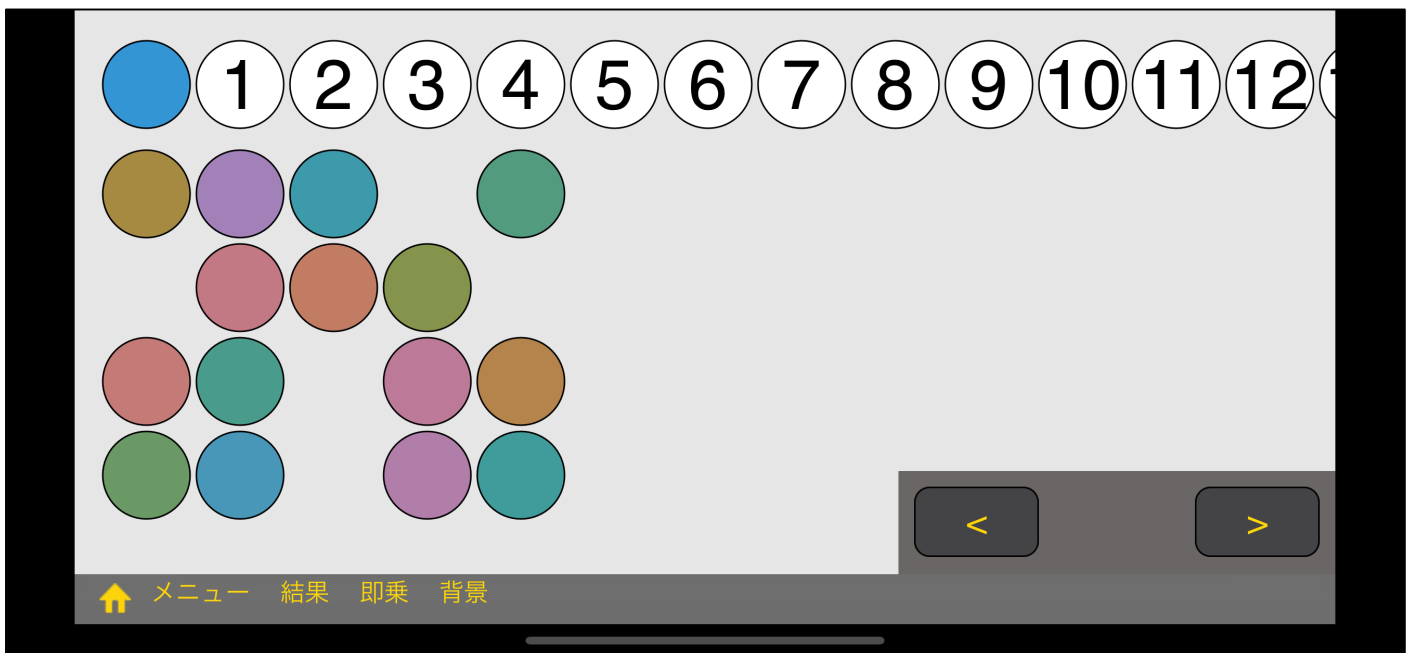
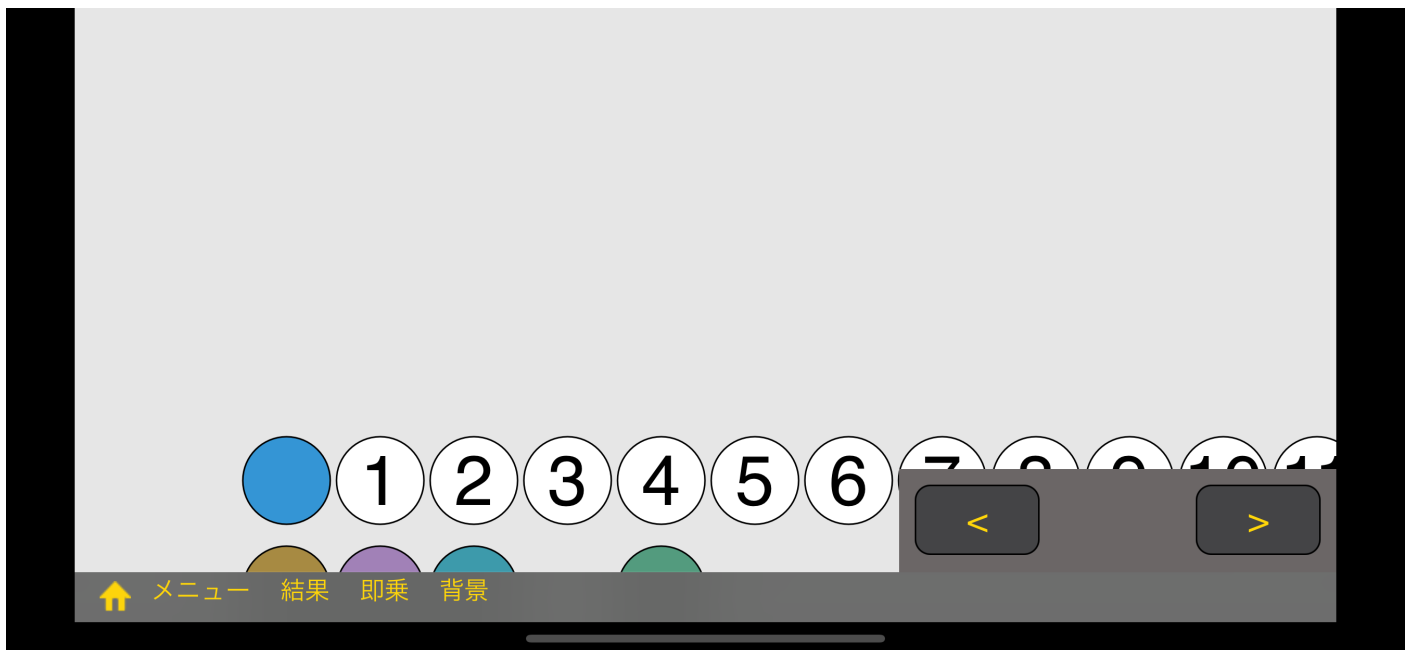


このビューでは、

- ・ キャップ
- ・ 土台のビュー
- ・ 未配置のキャップ全体
- ・ 矢印ボタンビュー

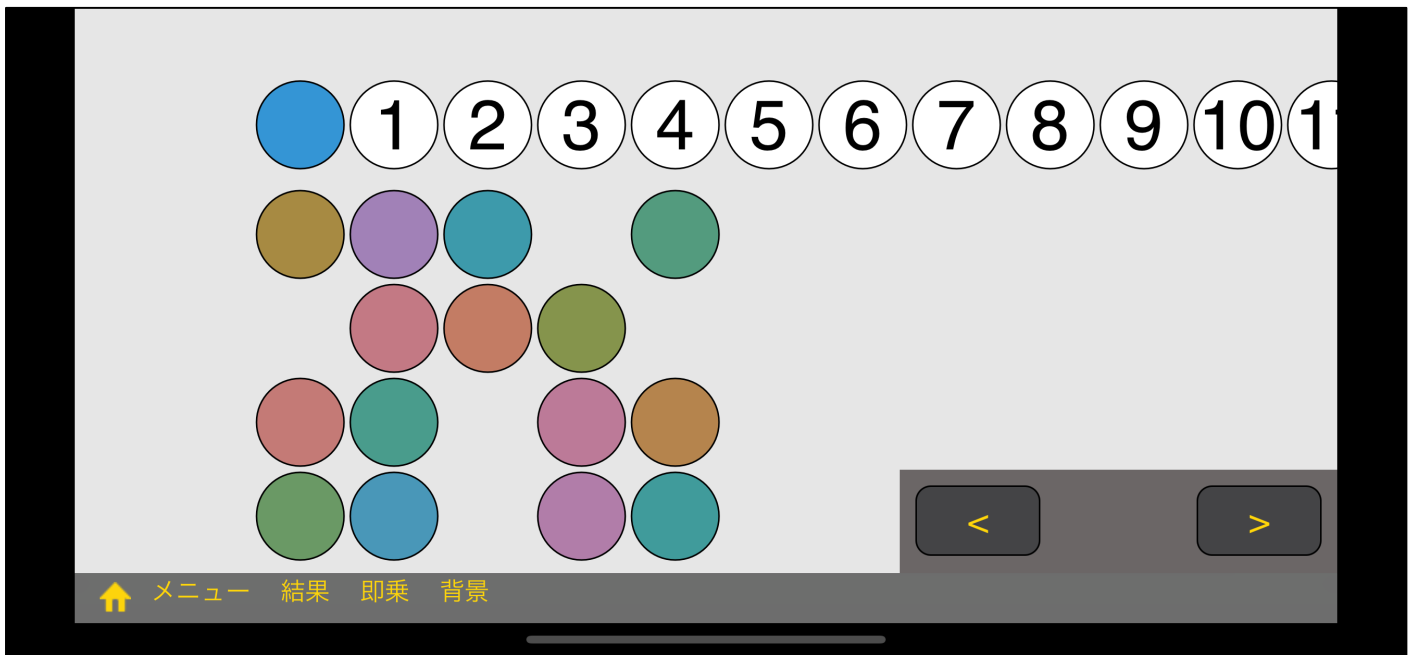
が動かせます。

見やすい位置で、並べて行って
もらえればと思います。

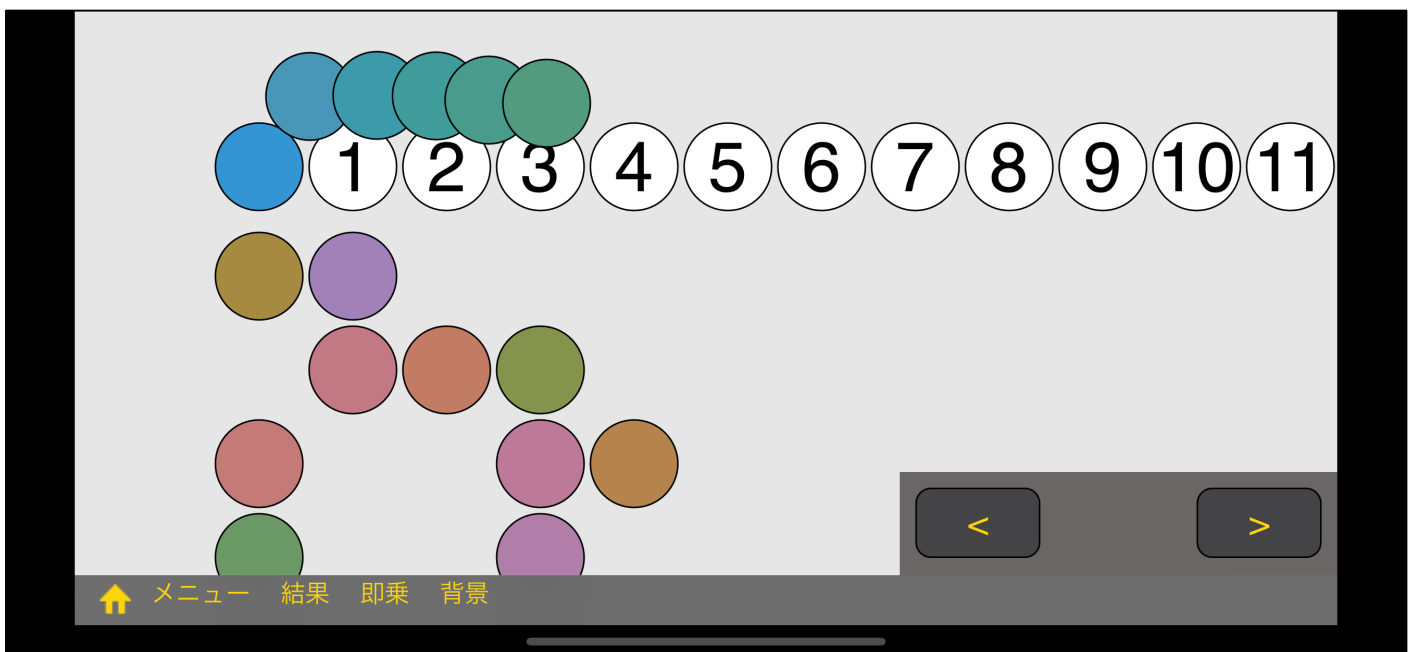
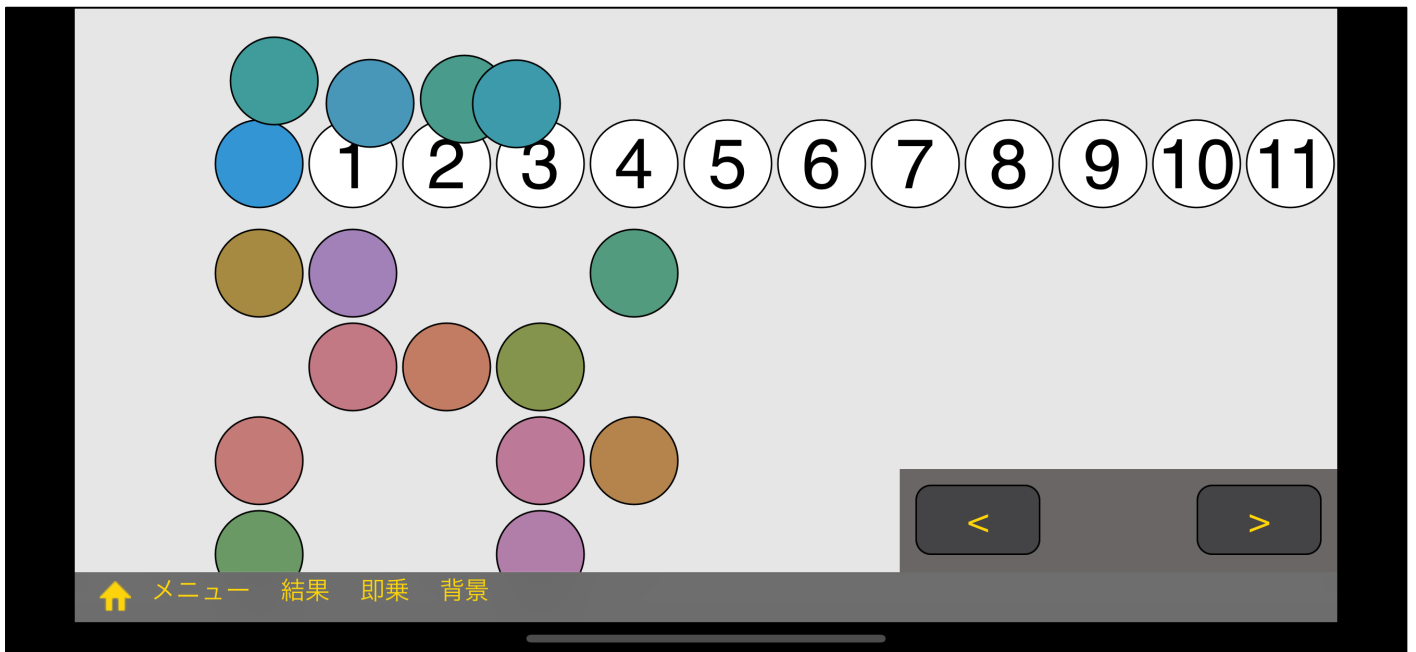


バージョン 2.0 からは、実行中にでも、横向きにできるようにしました。

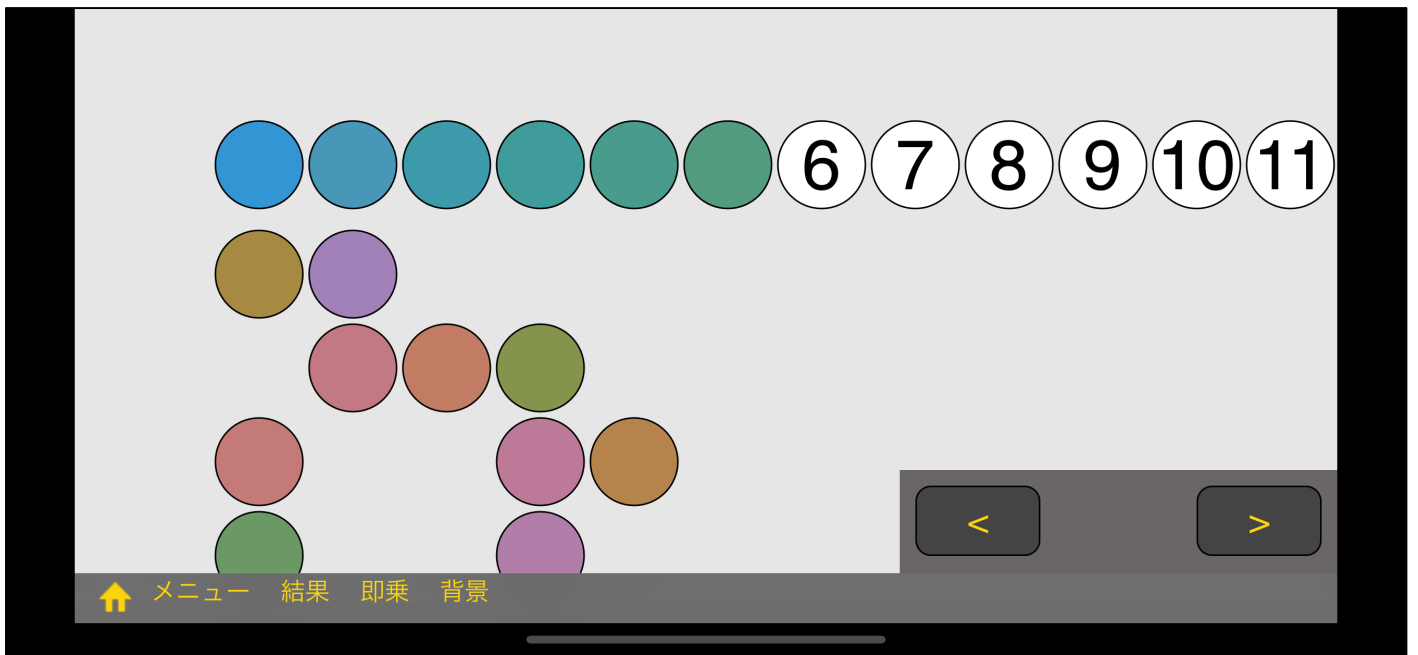
縦向きにしたら、縦向き表示になります。



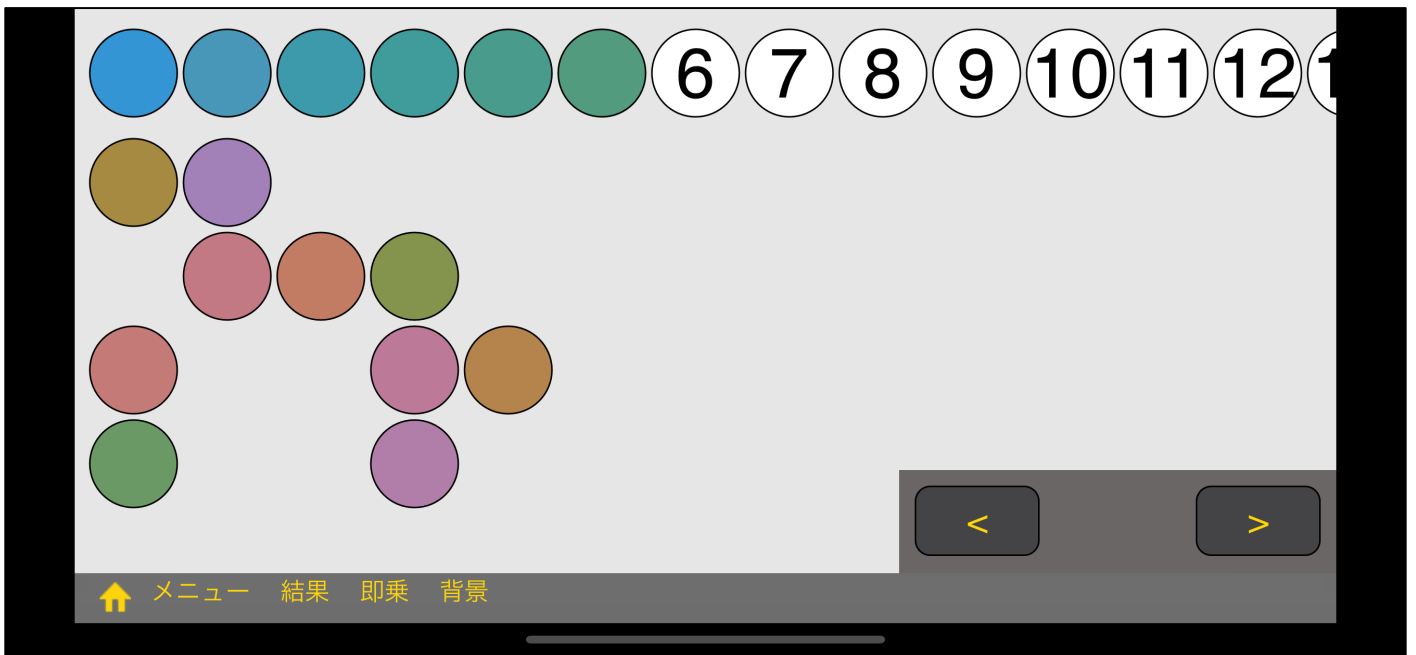
ともかく、土台のビューを動かしてみて、置きやすい位置にもってきます。



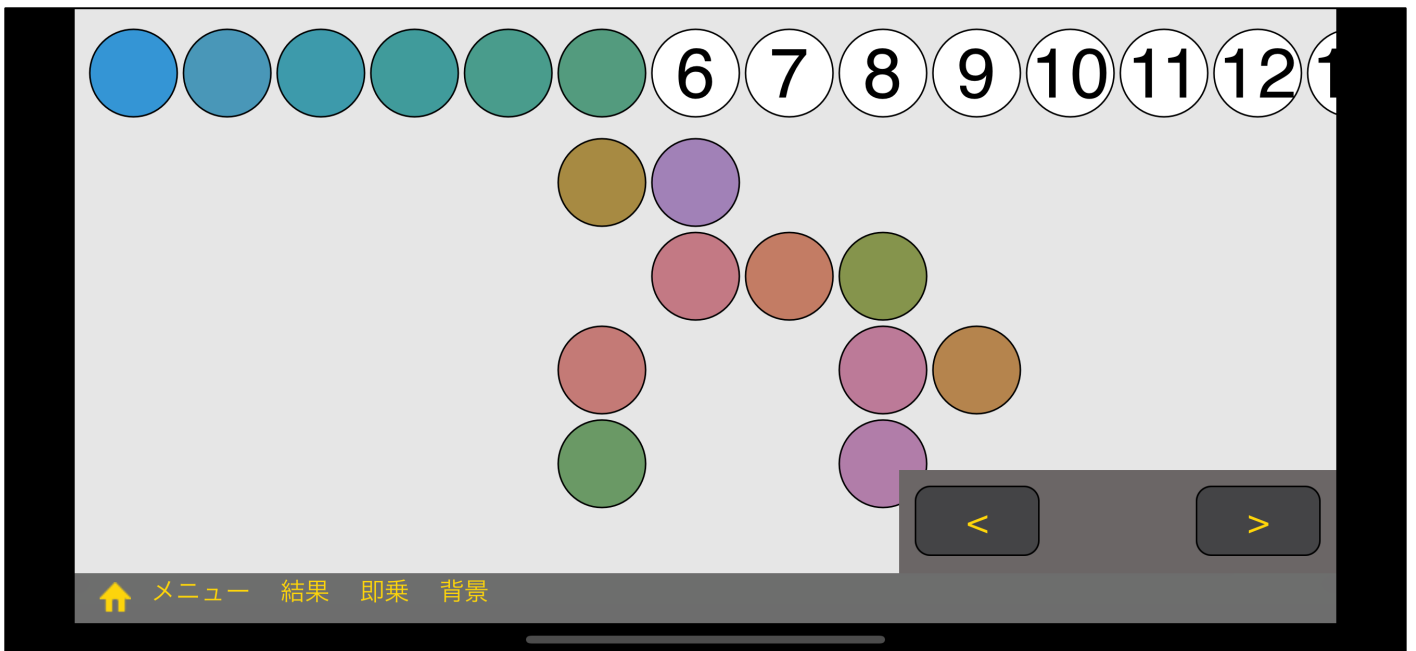
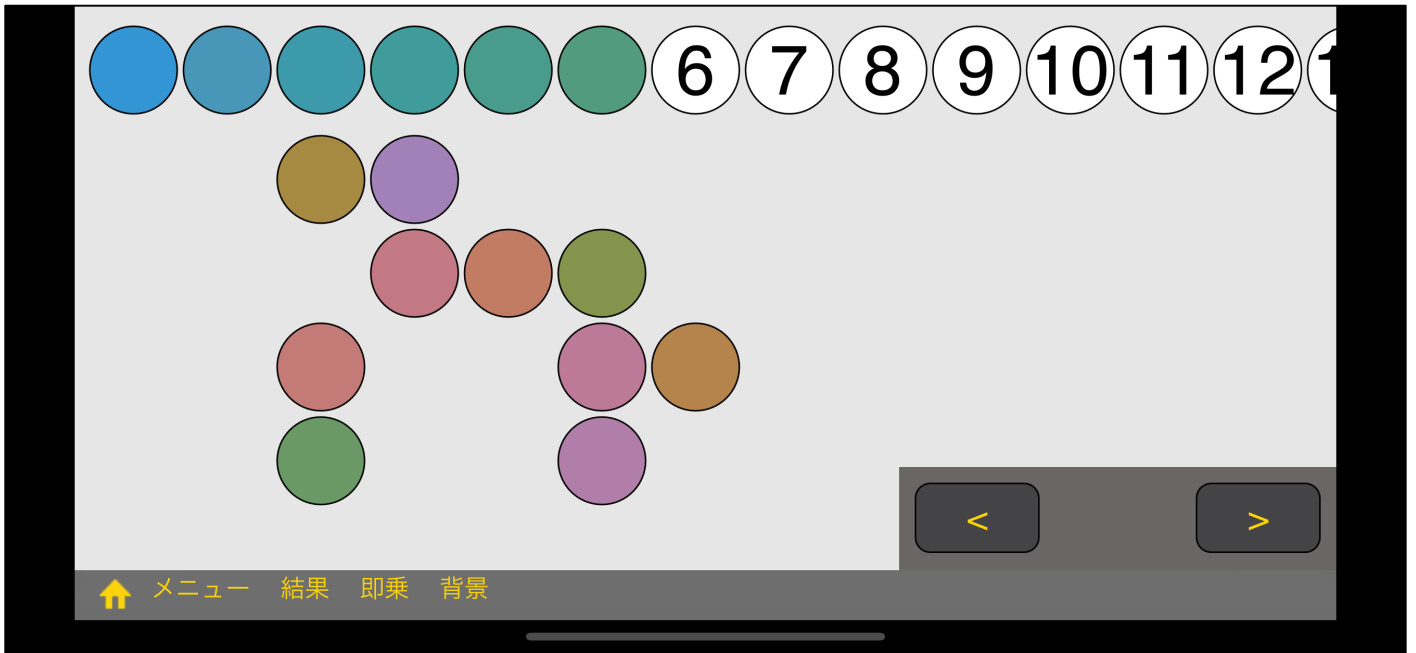
このように重ねてみると、色の違いがわかりやすいかもしれません。



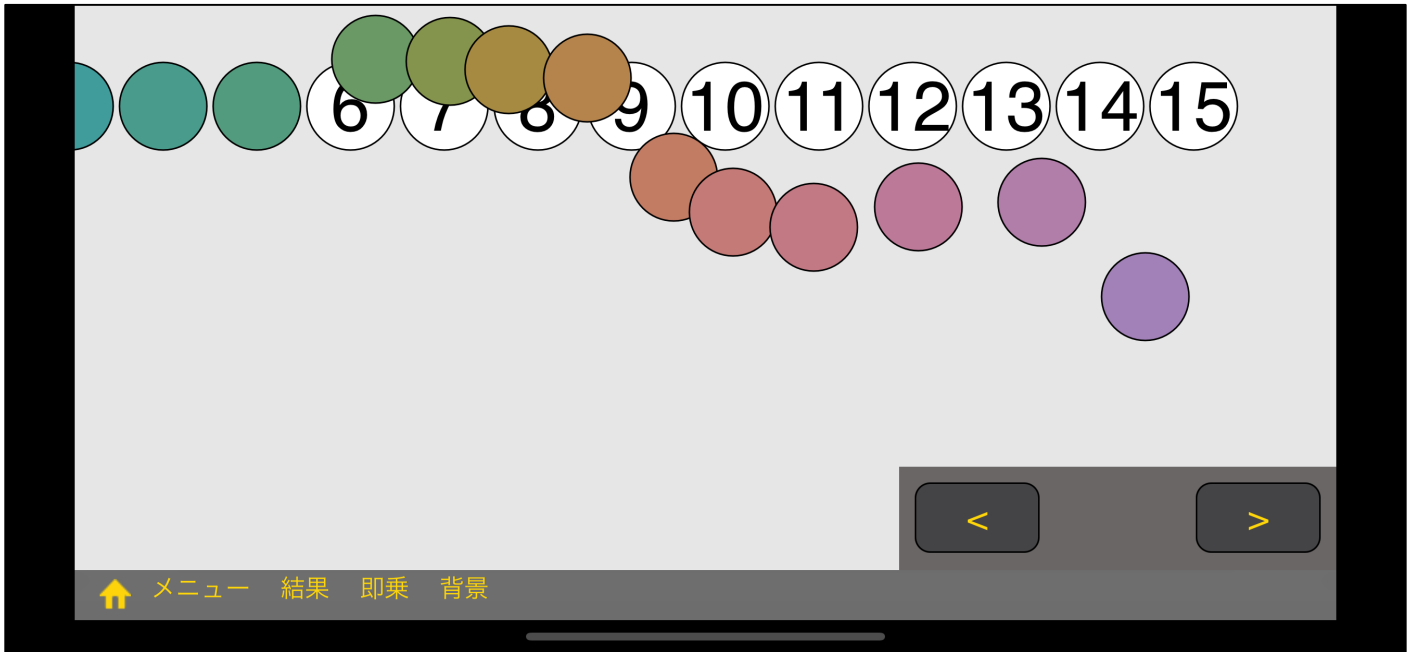
これでよいと思えば、置いていきます。



土台のビューを動かすと、こういうことになります。



右下の矢印ボタンを押すと、未配置のキャップが、このように、動いてきます。



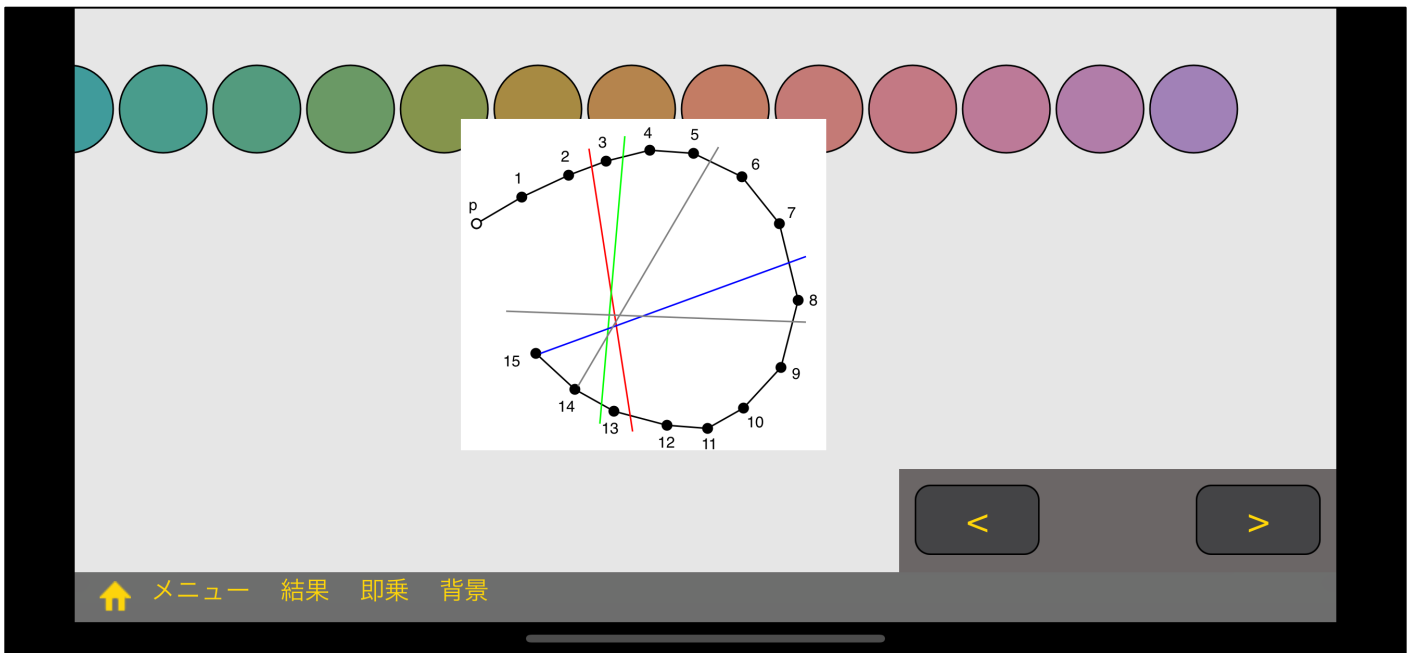
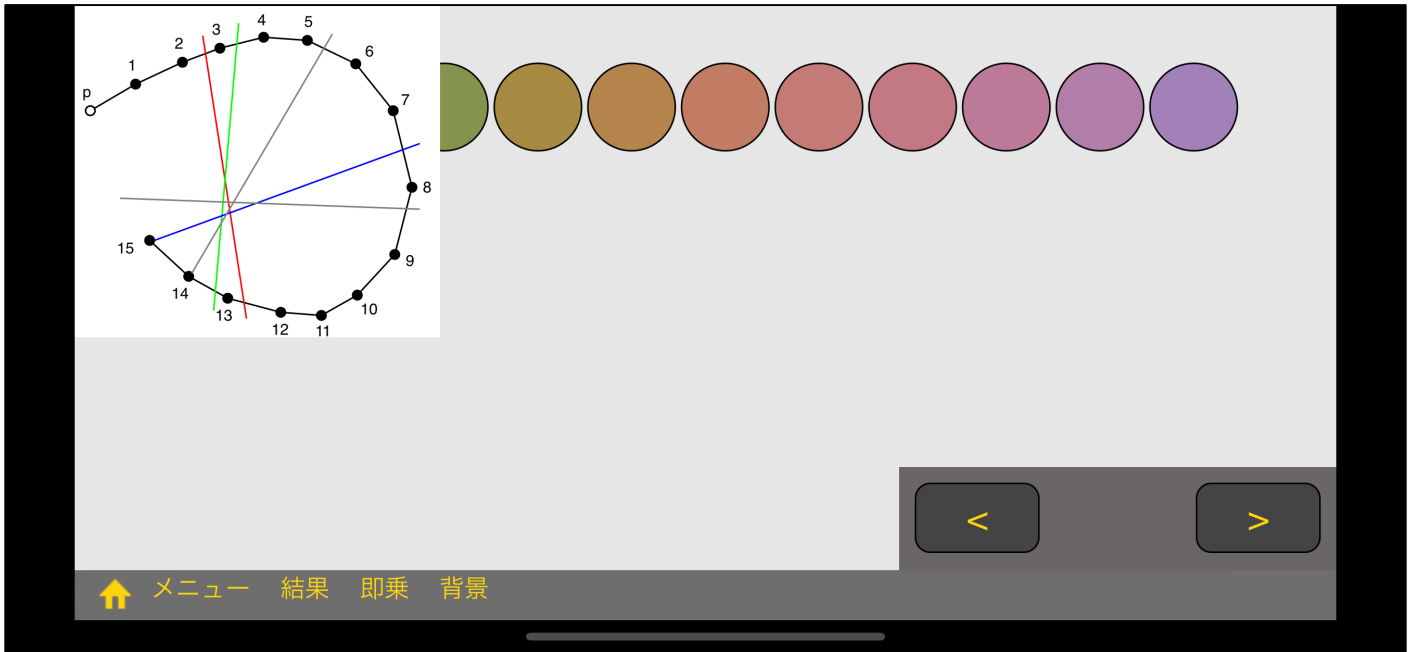
このように重ねてみたり、近くに置いてみたりすると、色の違いはわかりやすいかもしれません。



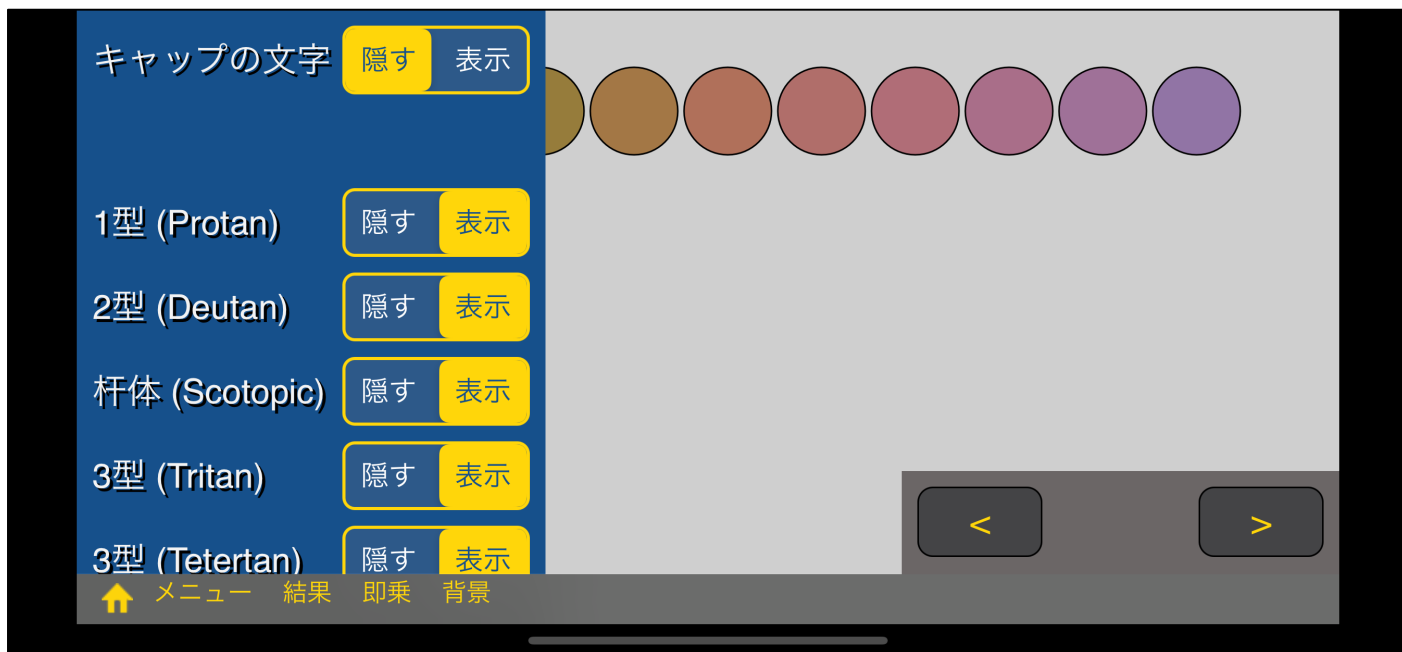
これでよいと思えば、置いていきます。

これで、置き終えたこととなります。

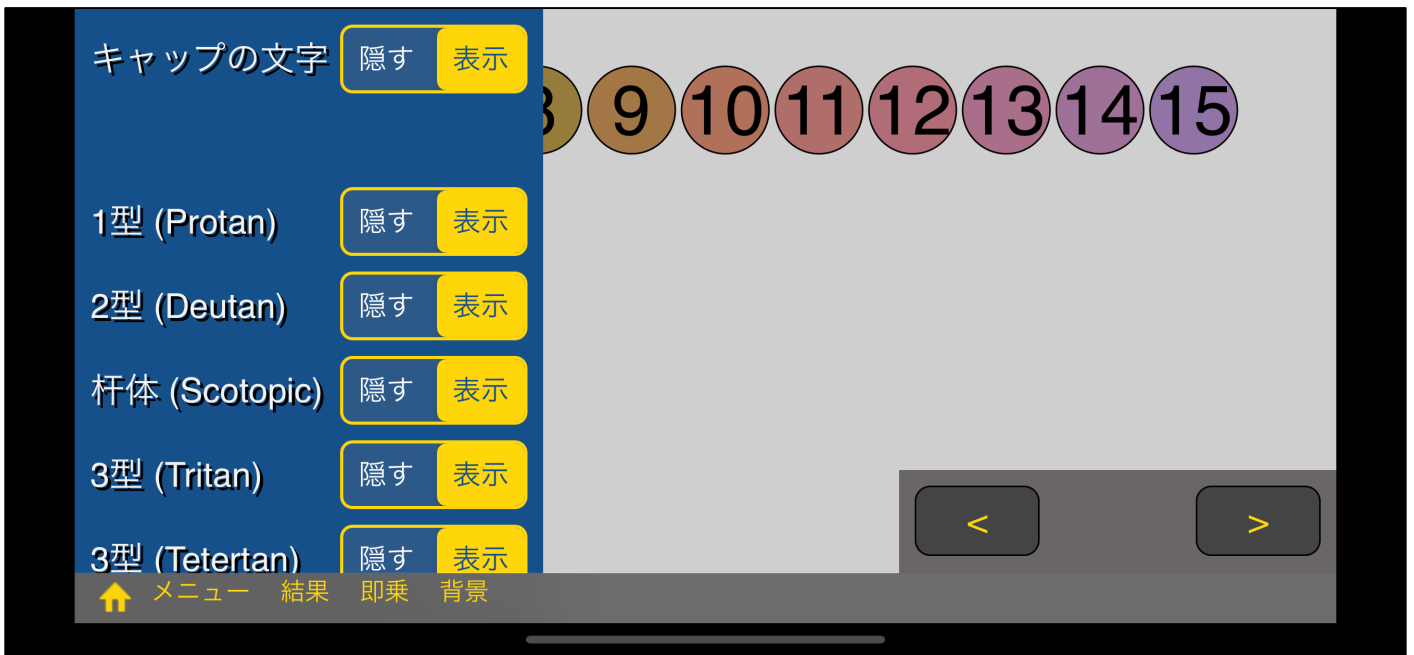
この後、ツールバーの3番目の "結果" ボタンを押すと、
下のようなテスト結果の図が現れます。



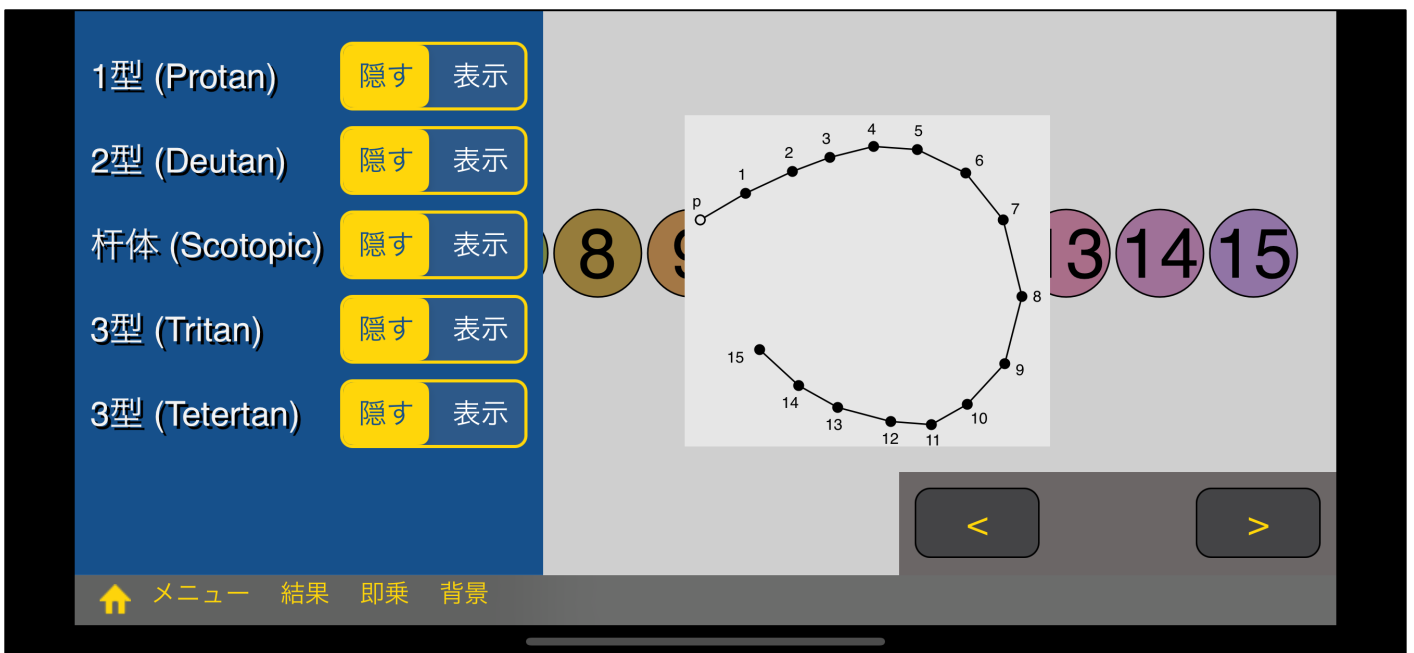
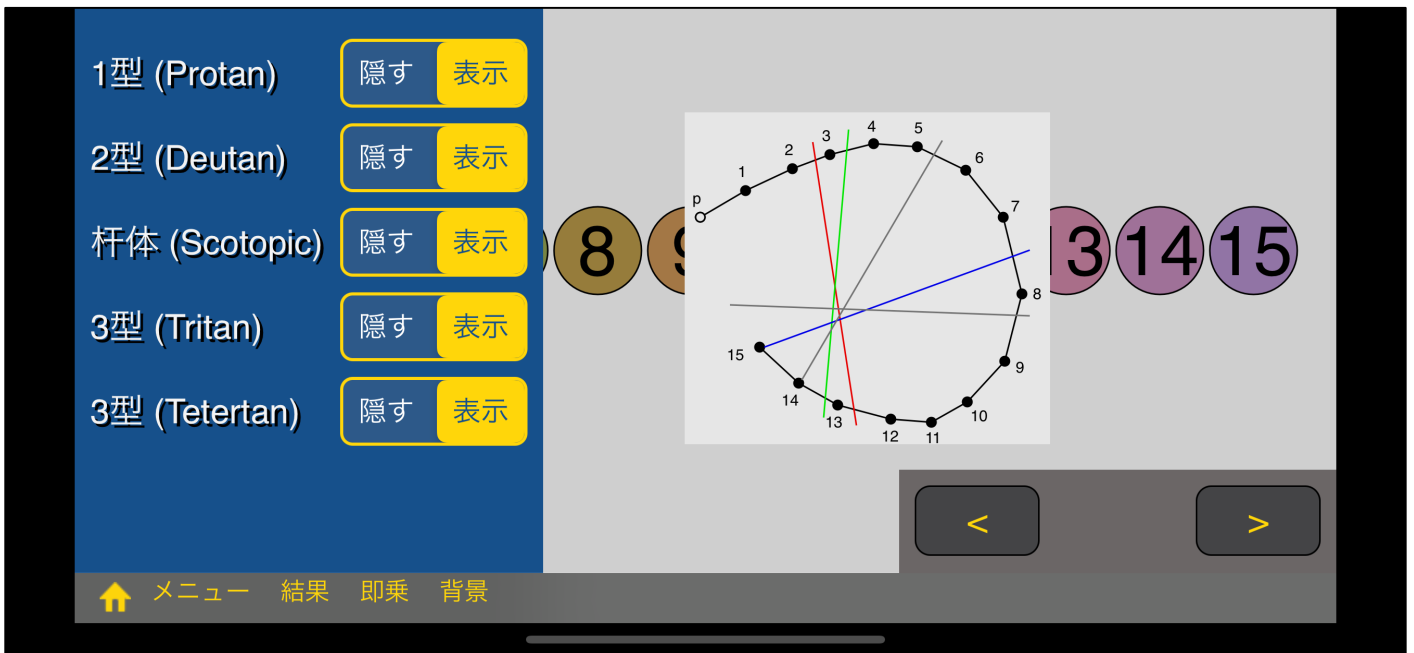
テスト結果の図も動かせるようになっています。
また、テスト結果の図は、ダブルタップすると消えます。



ツールバーの2番目のボタンを押すと、このような設定ビューが出てきます。

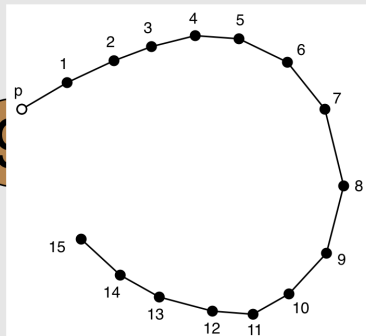


一番上の "キャップの文字" を表示にすると、
このように、キャップの上に番号が表示されます。

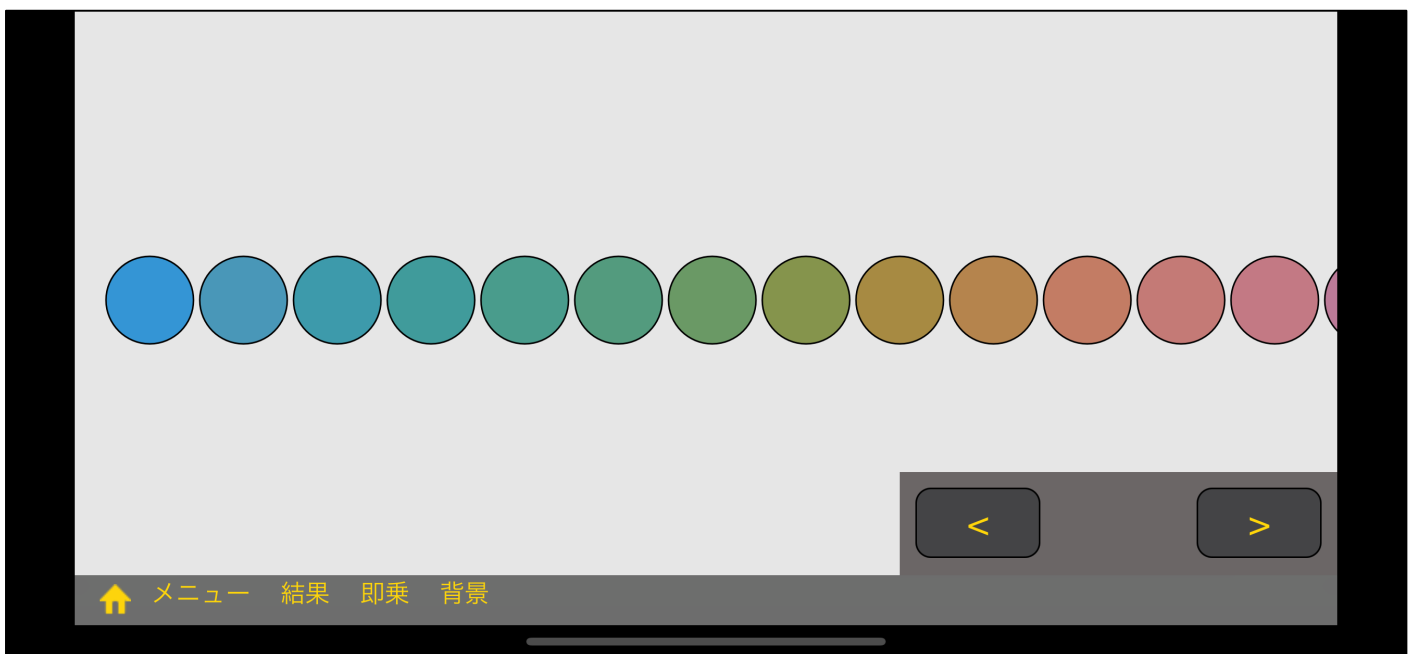
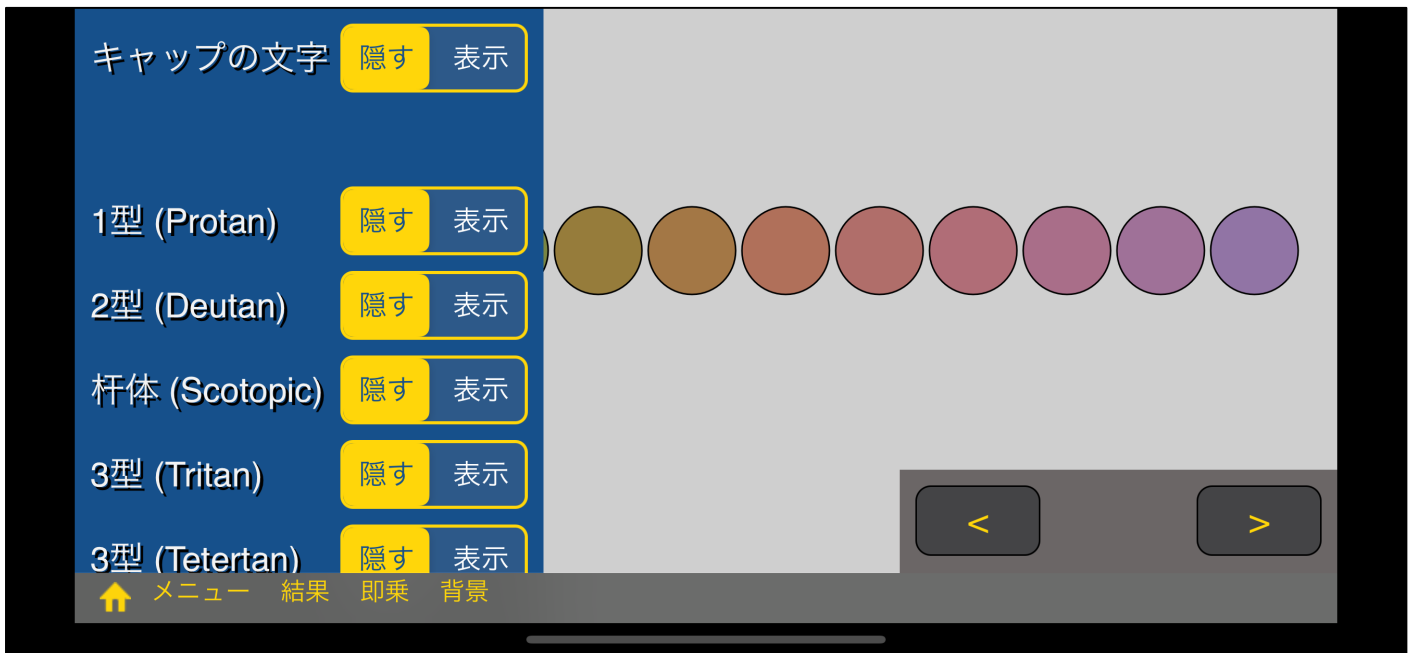


設定ビューの、下5つは、結果の図の混同線の表示、非表示の指定です。

このように、すべて "隠す" にすると、
次の図のように、混同線は、まったく表示されません。

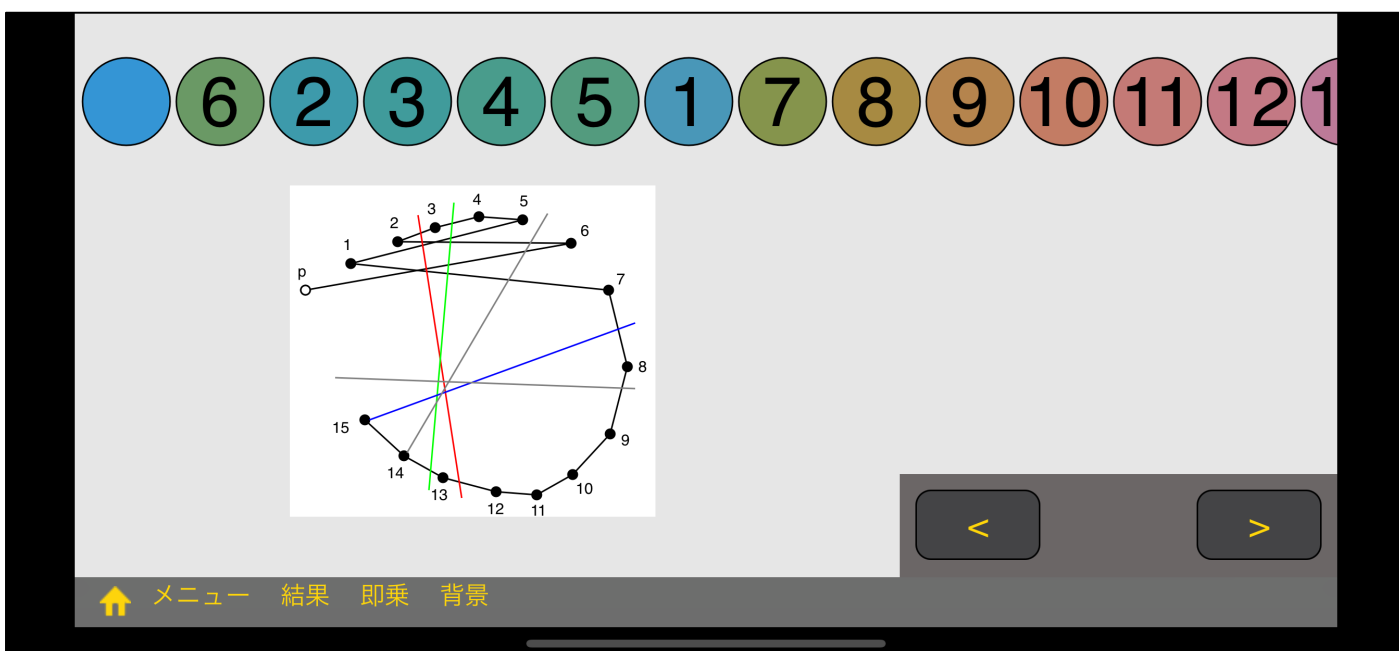
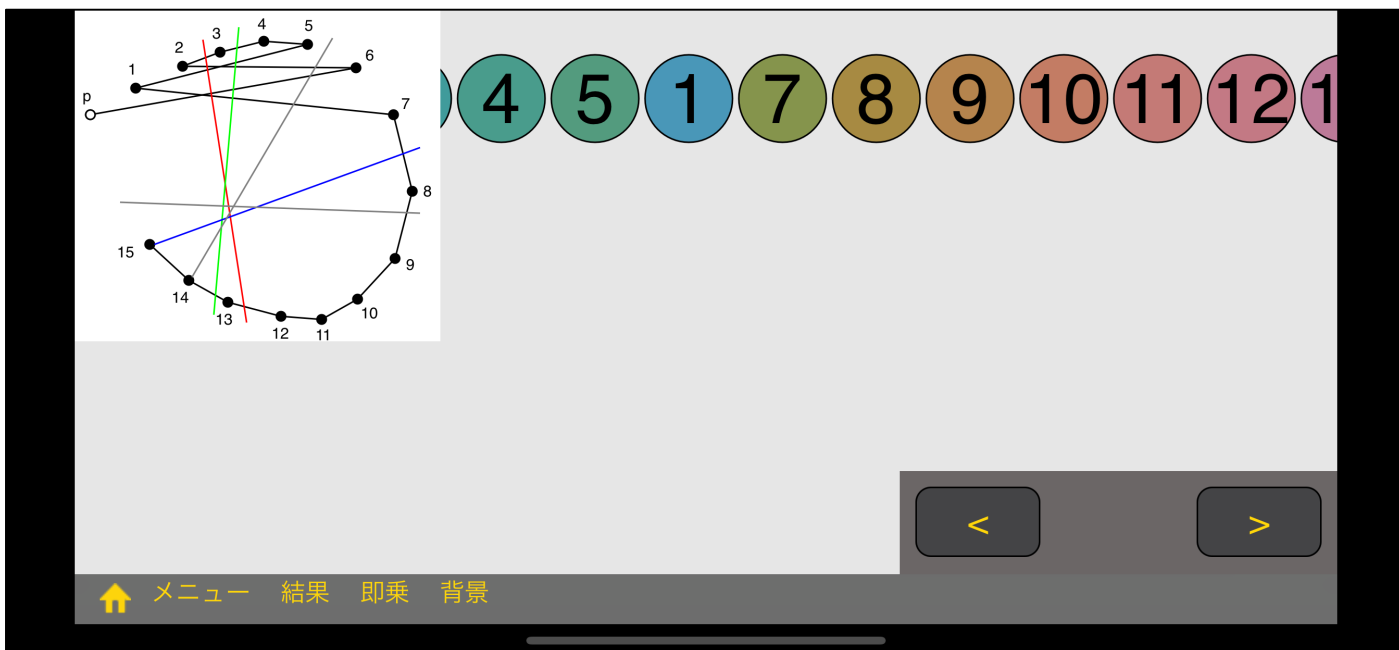


🏠 メニュー 結果 即乗 背景



結果の図を消す、キャップの文字も "隠す" にすると、こうなります。

上の状態から、キャップ 1 と 6 を外して見て、入れ替えてみると、次のような図になります。



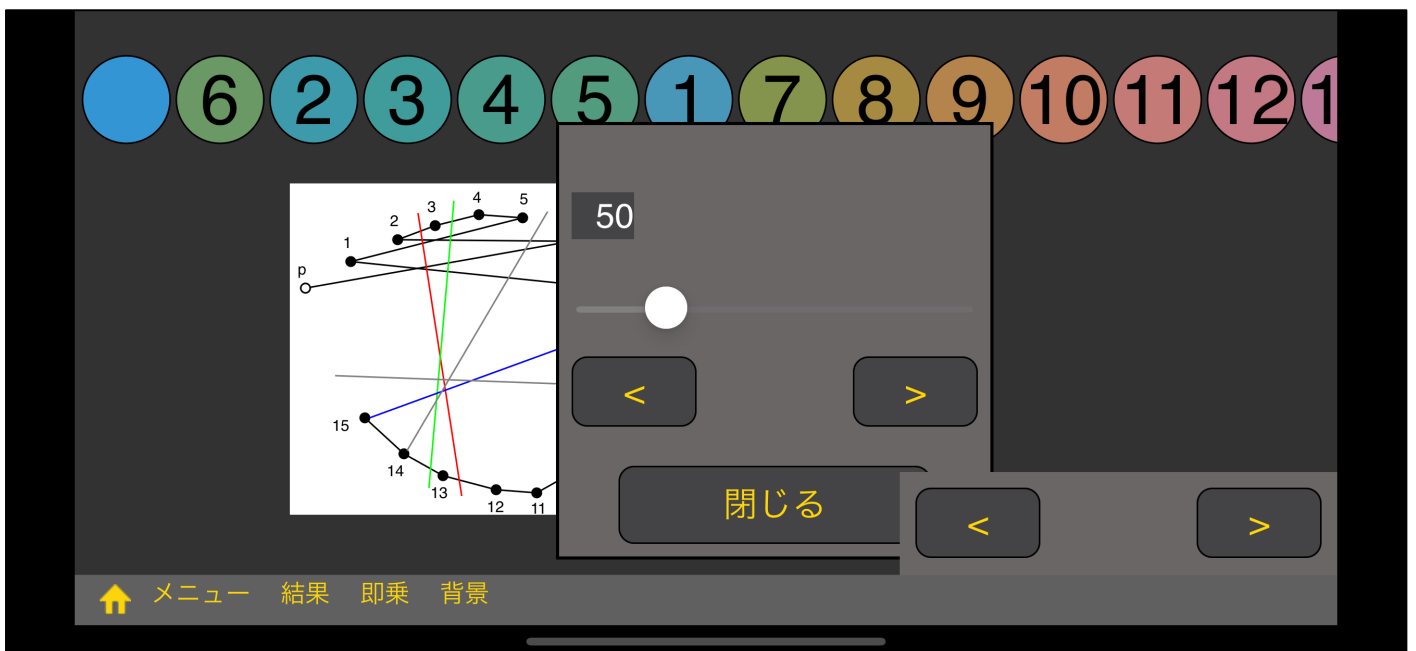
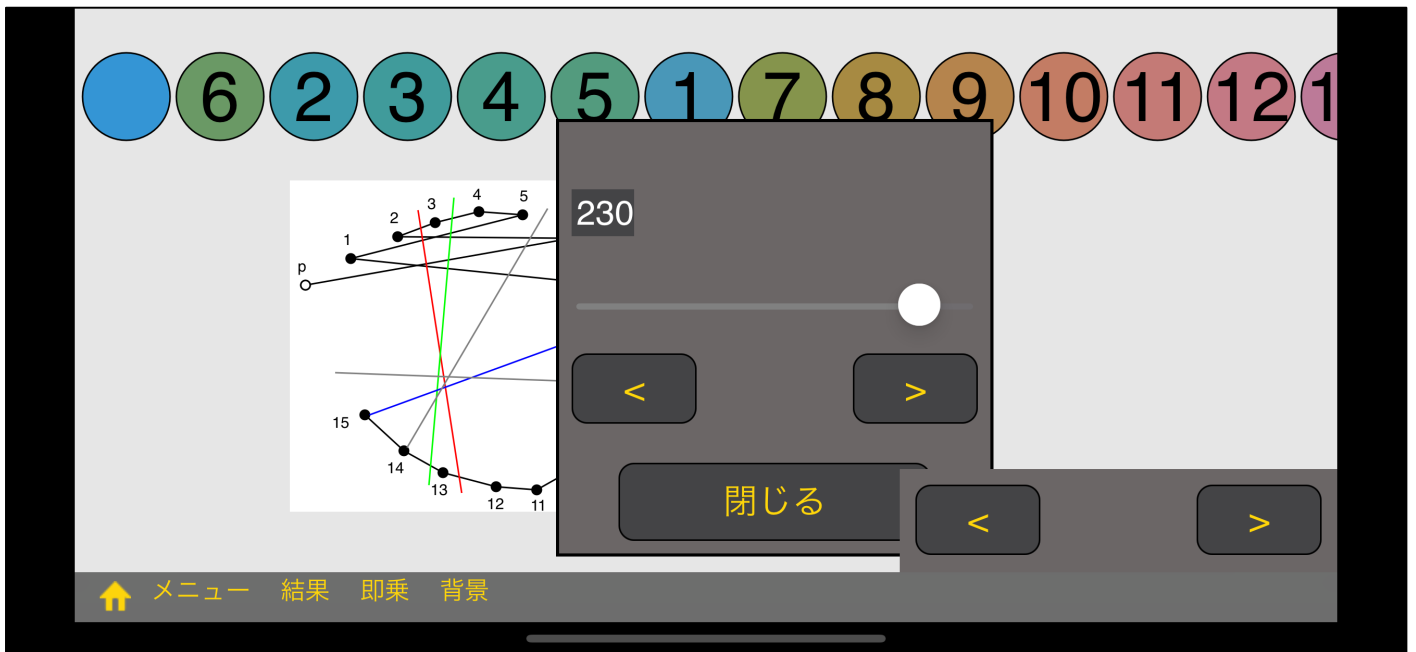
この結果は、

- 1 - 5 混同線 3型 Tritan と平行。
- 2 - 6 混同線 3型 Tetertan と平行。

となりますので、

3型2色覚 (Triteranopia)

である疑いが濃厚ということになります。

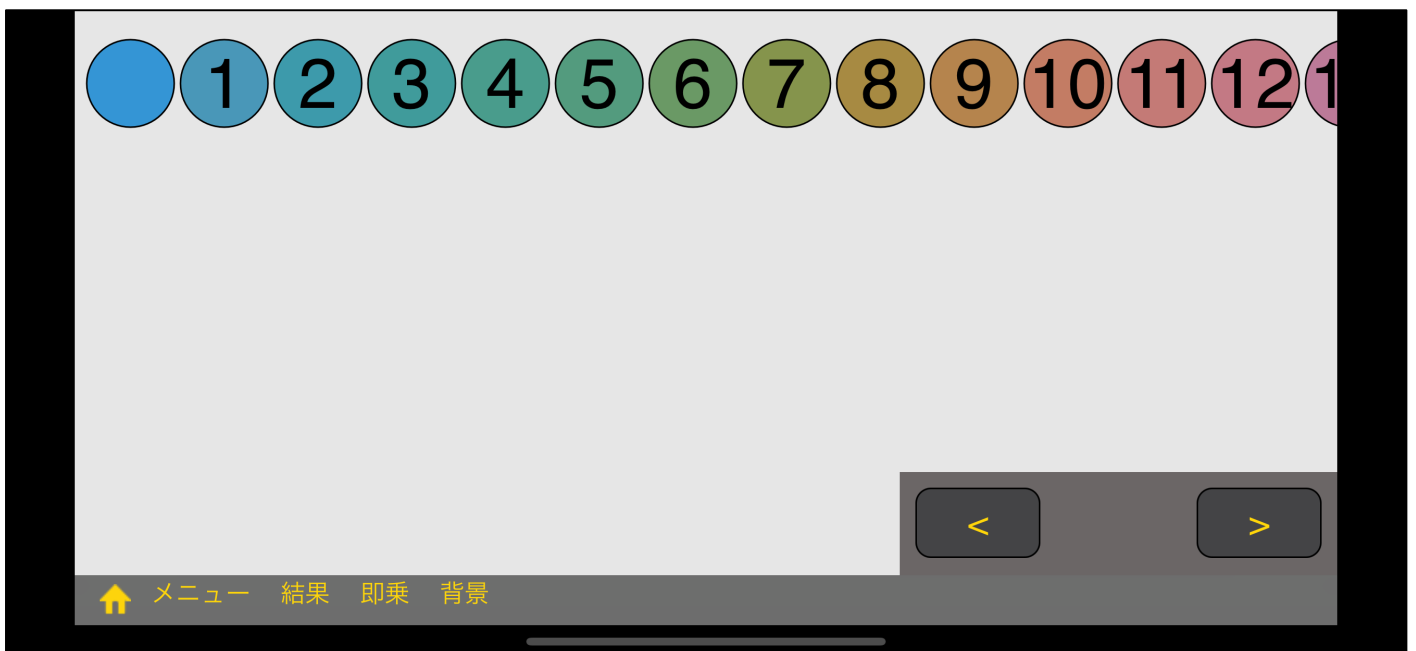
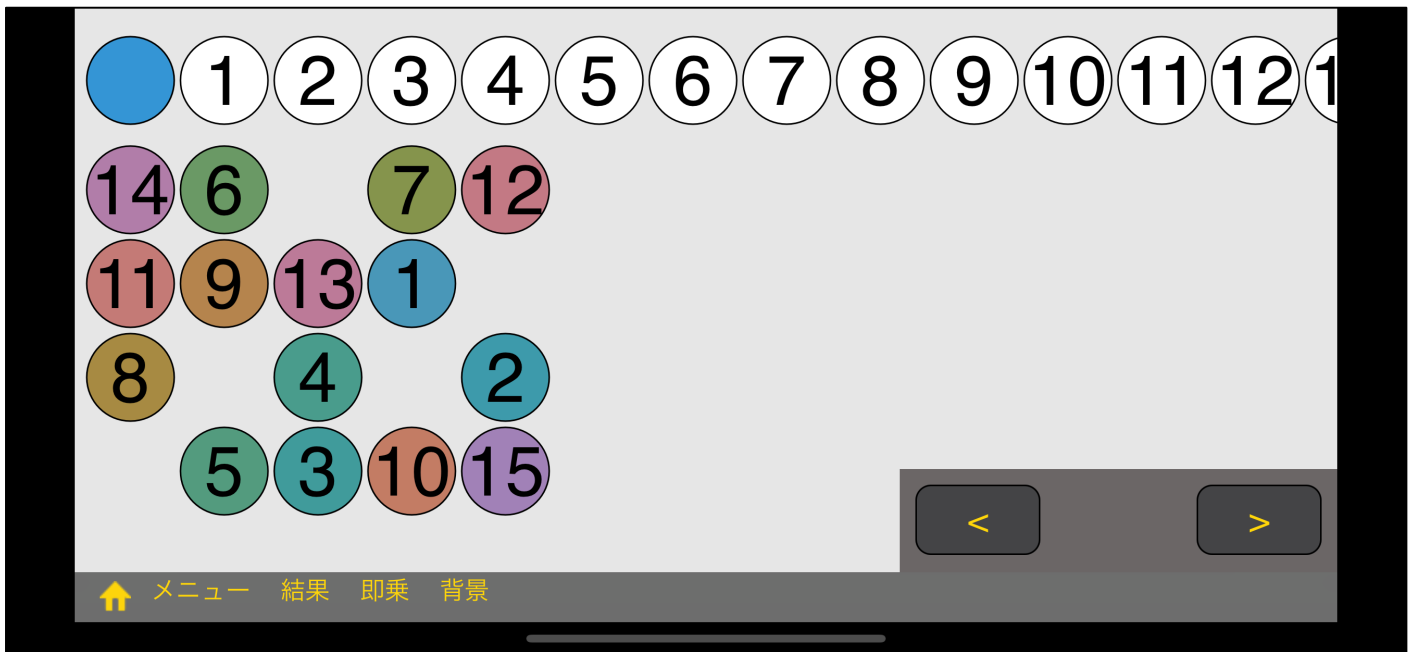


ツールバーの、一番右の、"背景" ボタンを押すと、このように、背景色を指定するスライダーが現れます。

この状態では、制御はすべてスライダーに集中し、他のことは行えません。

ここのスライダービューだけは、長押しで閉じるということは、行っていません。ここ以外のスライダービューは、長押しで閉じることができます。

50 にまで、落としてくると、下の図のようなものになります。



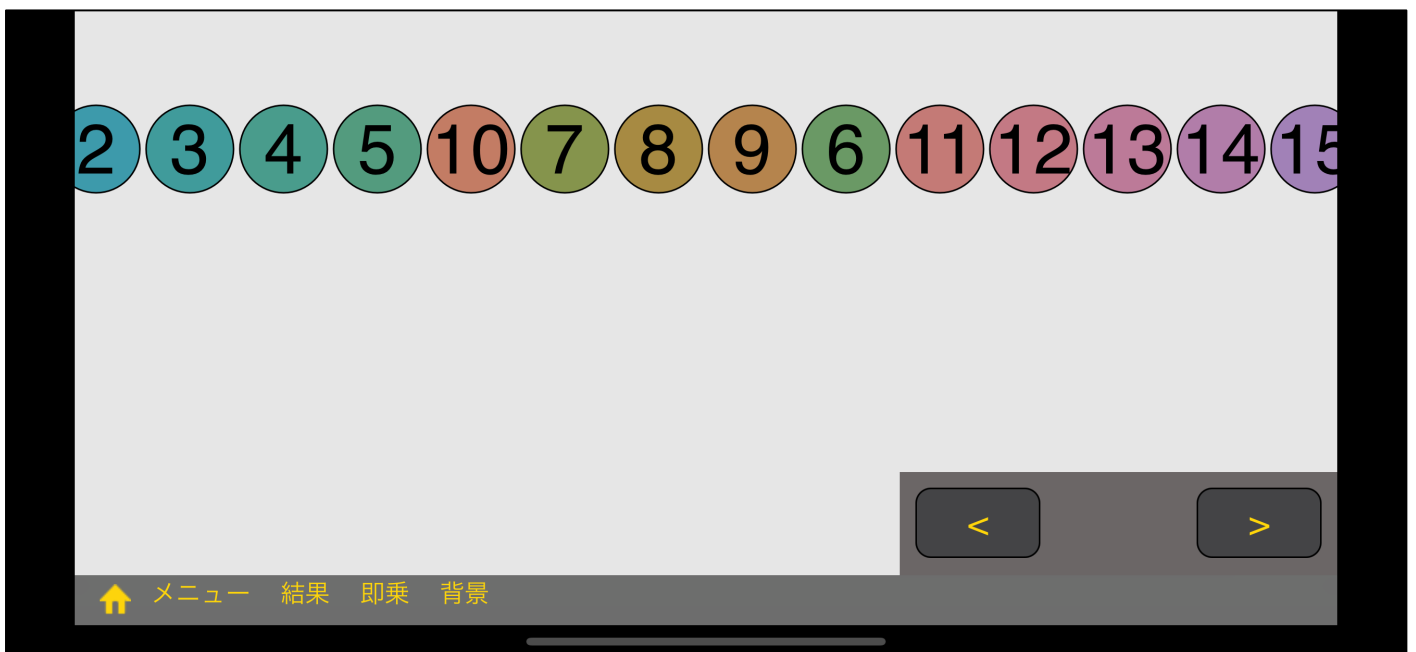
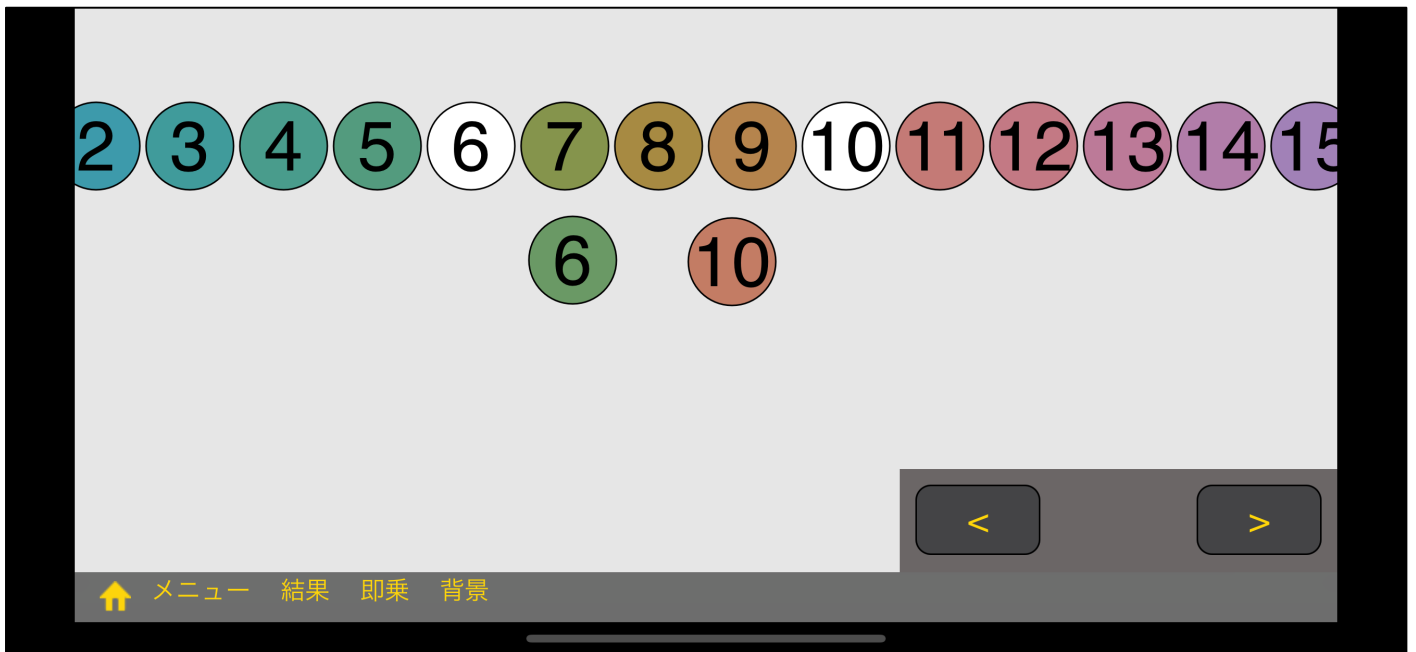
ツールバーの4番目のボタン、"即乗" を押すと、
このように、即座に、真っ当な順序で、キャップを乗せます。

この機能は、

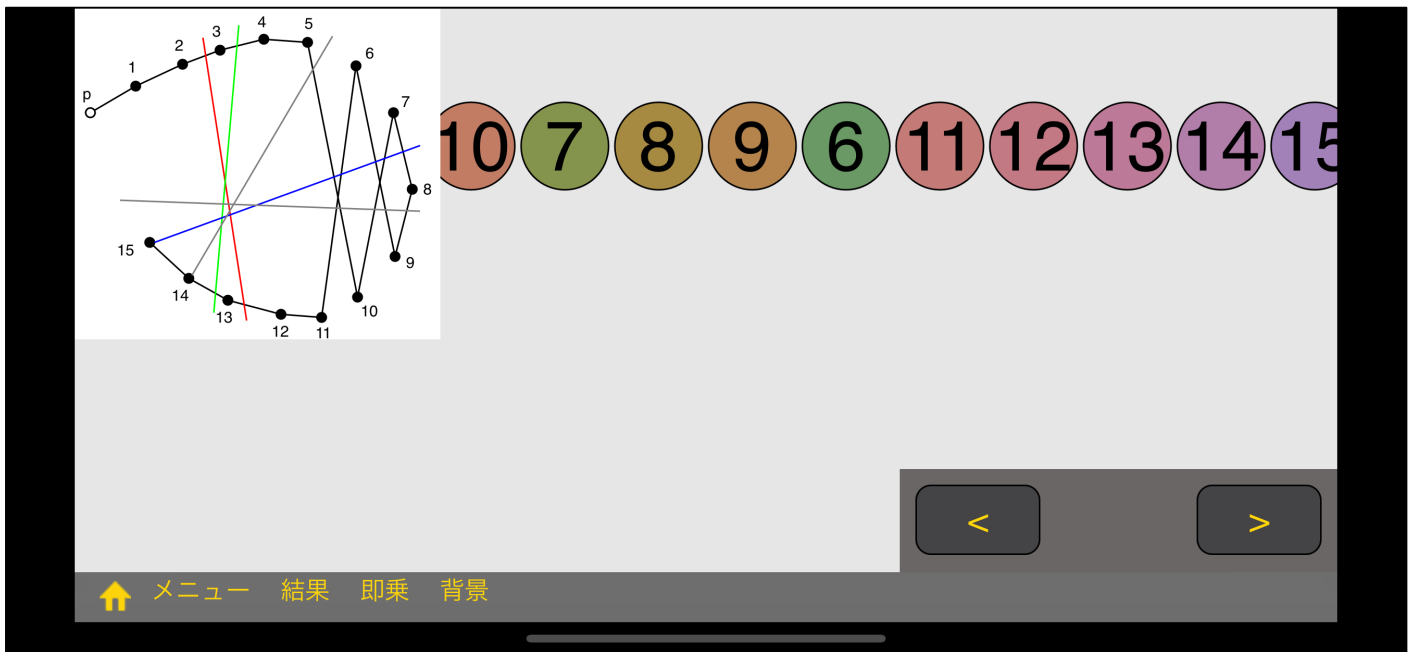
乗せてみてから、わざと外してみる。

というような使い方を想定しています。

というのも、キャップを全部乗せないと、結果の図は表示されないからです。



このように、6 と 10 を外して、入れ替えてみます。

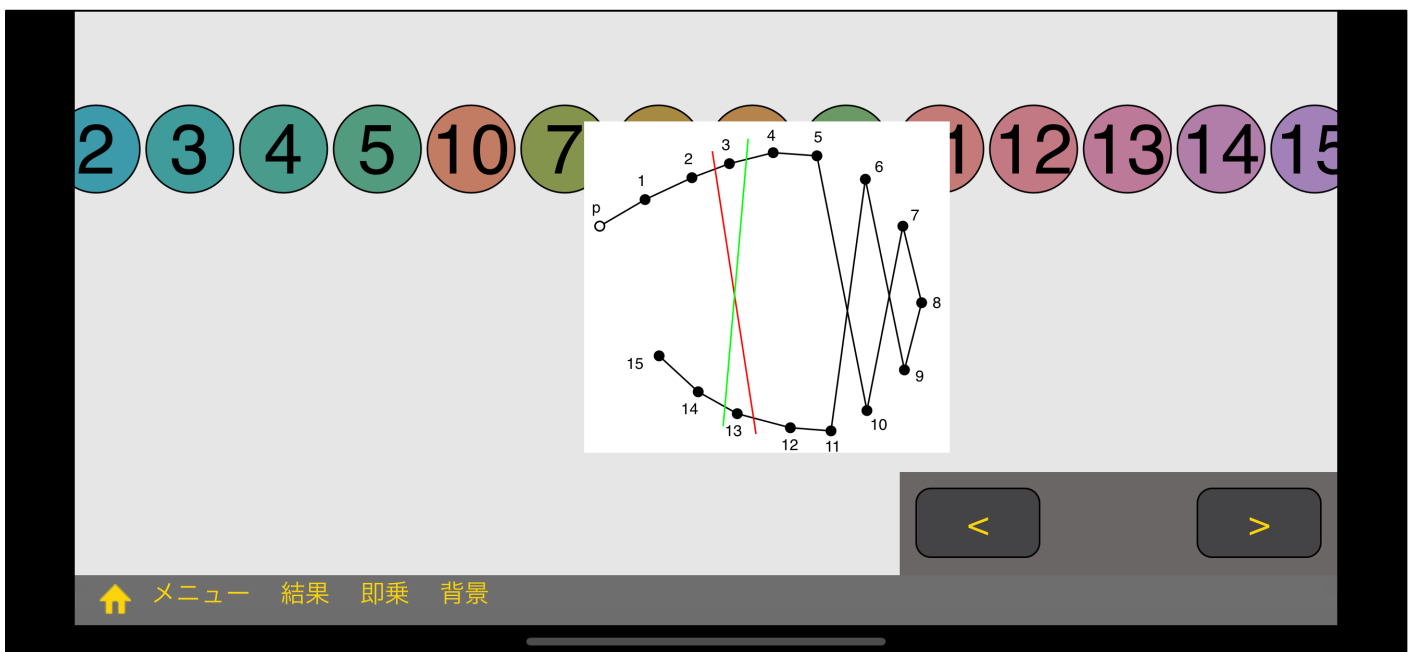
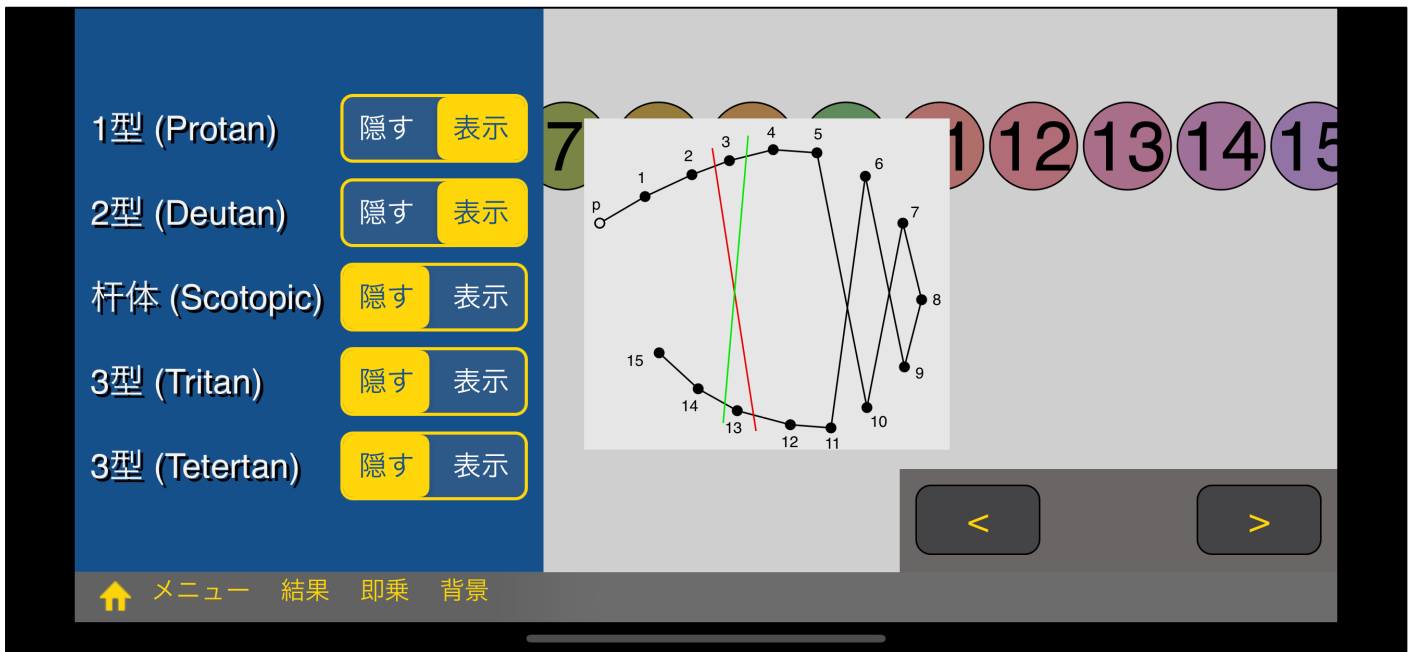


そして、"結果" ボタンを押すと、

1型 (Protan)

2型 (Deutan)

と平行な線が出ます。



こうすると、

1型 (Protan)、2型 (Deutan) と平行な線が現れている。

ということが、わかりやすいです。

"即乗" というコマンドは、このように、
自分で、狙ったところを入れ替えてみる。
というようなことを想定したものです。

ホームに戻る。
ということを行わないかぎり、
入れ替え 結果の図の表示
ということは、何度でも行えます。